



愛川ふれあいの村2月の風景

平成27年2月 自然のたより

立春を迎え、寒さもずいぶん和らいできました。鳥たちも活動しやすくなったのか、エサを探しに來たり、元気に飛び回っている姿が見られます。また、空中に飛ぶ虫も少しずつ見られるようになりました。

リンドウやモミの幼木など、植物の芽吹きが見られ、あちらこちらから春の知らせが届いています。



ツバキの花



芽吹き始めたフデリンドウ



ヤシャブシの実を食べるマヒワ



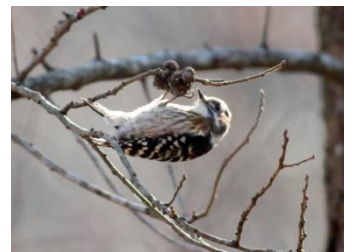
水滴の中の芽鱗



水場で休憩するヒヨドリ



カタクリの葉



木の实を食べるコゲラ



日向ぼっこをするツグミ



ユリワサビの花



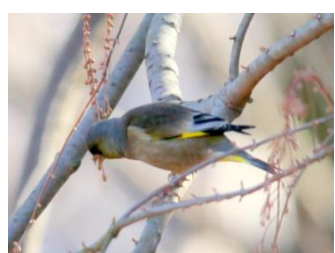
遠くを眺めるアオゲラ



ハシボソカラス



雪に覆われたツバキ



食事中的カワラヒワ



ミヤマホオジロ



エサを探しているアトリ

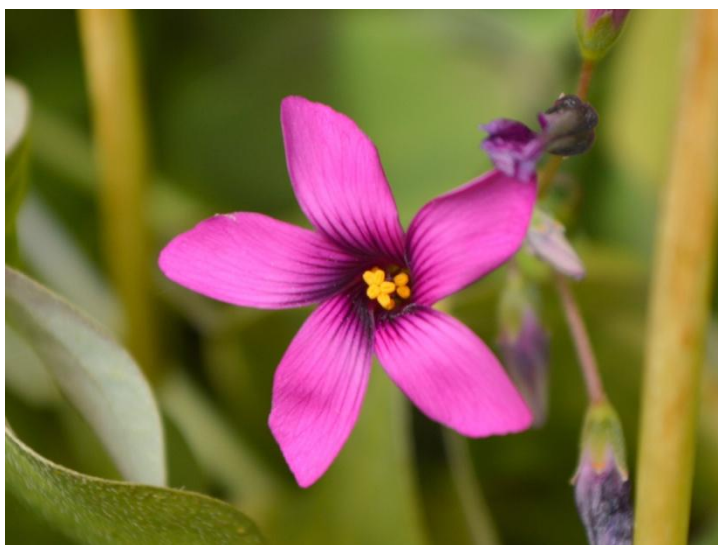
★自分の家紋、知っていますか？★

その家紋、よく見るとかっこいいかも…！？

春の訪れを感じる小さな花たちが顔を見せています。ひときわ目を引くのは「カタバミ」。

「カタバミ」は形が美しく、繁殖力も強い植物です。優雅さと子孫繁栄の意味を含め、家紋として人気があります。鎧や盾を組み込んでいる外国のエンブレムと比べ、家紋は身近な物事や花鳥風月がモチーフとなっており、温和な国民性が伺えます。

平安時代に始まった家紋を辿ってみると先祖のルーツが分かるかもしれません。見たことが無い方はお墓や紋服を見てみるといいでしょう。家紋は代々受け継がれてきた文化で、決まった形式はありません。自分で家紋を作ってみても面白いですよ。



★日本人と自然★

日本人は昔から、自然とともに生活をしてきました。春には桜が咲き、夏になればセミが鳴き、秋には落ち葉が舞い、冬には雪が降り、日本ではさまざまな自然の表情を見ることができます。

日本語に『気候』という言葉があります。実は『気候』という言葉は、1年を約15日おきに24の季節に分けた『二十四節気』の『気』と、二十四節気をさらに5日おきに3分割にした『七十二候』の『候』を合わせたもの。この2つが合わさることで、より季節感が出て季節の巡りや自然の営みを感じられるようになりました。

昔からの季節の感じ方を知り、受け継ぎ、伝えていくことが大切です。ぜひ、毎日の生活の中で季節を感じられる工夫をしてみてください。



▲開花し始めたタンポポ



▲オオイヌノフグリ

家紋

自分の家紋知ってる？

えっ

と、聞くと

見た事あるけど覚えてない

だいたい、このような答えが返ってくる人が多いです

出身：新潟県三条

うちの家紋は抱き老荷だよ

農家さんだったみたい

先祖とか

家紋を知ると自分の歴史を辿るヒントにもなります

出身(父方)：兵庫県尼崎市

家紋は意外と知らない人が多く意識してみると芸術的で面白いです

I have no KAMON!! (家紋)

うらやましいなあ

KAMON IS COOL!

出身(父方)：タイ (母方)：中国 国籍：日本

分らなかつたり無かつたりしたら自分で作ってみるのもまた一興！

オススメです

カタバミ

馬や、雪も良いかな？

発行者：神奈川県立愛川ふれあいの村

TEL：046-281-1611

HP：<http://fureai-aikawa.com/>

写真：吉田文雄・大瀧裕基子・葉青芳

文章：大瀧裕基子・葉青芳 イラスト：葉青芳

編集：葉青芳・大瀧裕基子・吉田文雄



愛川ふれあいの村
で、検索★